

## 2008年日本数学会出版賞の授賞候補推薦について

理事長 谷島賢二

20世紀以来著しい進展を遂げた数学の研究には我が国の数学者も大きく貢献しており、本会も我が国における数学研究の環境整備に努めて参りました。ところが、数学が高度に専門化したため、数学の果たす重要な役割が一般の方々はもとより、理科系の専門家にも理解されているとは言い難い状況があります。

一方、数学の魅力を巧みに伝える一般向け啓発書が出版されるという誠に喜ばしい事例も昨近相次ぎみられ、本会としましては側面から応援したいと考えております。また、数学諸分野の有機的連携を図り、自然科学、社会科学との協力関係を促進するためにも、数学の魅力や目覚ましい発展の真髄を他分野の専門家のみならず一般にも判りやすく伝える数学者の努力も奨励したいと考えております。

そこで、本会では「出版活動などの著作活動により、数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた活動を顕彰」するために、日本数学会出版賞を設けて2005年春に授賞を開始し、これまでに、次のように日本数学会出版賞を贈呈しました。

(敬称略，順不同)

2007年

- 青木 薫  
(授賞理由) サイモン・シン著「フェルマーの最終定理」，ジョージ・G・スピーロ著「ケプラー予想」等，幅広い層に数学への興味を抱かせる本を翻訳して，数学の普及に大きく貢献している。
- 荒井 秀男  
(授賞理由) 長年にわたって岩波書店の数学分野の企画・編集に携わり，岩波講座「基礎数学」をはじめ，入門書から専門書まで多くの優れた数学書を世に送り出し，日本の数学の発展に大きく貢献した。
- 小林 昭七・野水 克己 著「Foundations of Differential Geometry, I, II」  
(授賞理由) 本書は邦人が著わした世界的名著のひとつである。「接続」の概念を中心に据えることによって微分幾何の面目を一新し，純粋数学のみならず，理論物理学など数学外の諸分野にも多大の影響を与えた。
- 奈良女子大学附属図書館「岡潔文庫」  
(授賞理由) 数学者岡潔博士の公表論文から日記や色紙に至るまでも電子化し，数学の研究や発見についての興味深い内容をウェブ上に公開，岡潔博士の全貌に迫る一般向けにも魅力あふれた表現構成をなす優れた文庫である。
- 野崎 昭弘  
(授賞理由) ユーモアあふれる，明晰な文章で著された多彩な著書により，数学者を含む多数の読者を魅了した。特に大人でさえ楽しめる「赤いぼうし」や「 の話」など青少年向けの啓蒙書は特筆に価する。

2006年

- 齋藤 正彦著「線型代数入門」
- 株式会社サイエンス社刊「数理科学」
- 佐武 一郎著「線型代数学」
- 株式会社日本評論社刊「数学セミナー」
- 安野 光雅
- 鳴海 風

2005年

- 楠葉隆徳・林隆夫・矢野道雄（「インド数学研究」）
- 岡部恒治・戸瀬信之・西村和雄（「分数ができない大学生」）
- 志賀浩二
- 亀井哲治郎
- 小川洋子（「博士の愛した数式」）

—昨年以前の詳細情報は、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/> をご覧下さい。

2008年日本数学会出版賞授賞候補の会員による推薦を次の要領で募集します。